

「らしさ」プロジェクト始めます

— 3つのスキマを埋めて あなた「らしさ」を。 —

北九州市では、「女性にコンフォートなまちづくり」の実現に向け、令和7年度に「Woman's リアル VOICE プロジェクト」を実施し、女性の暮らしや健康に関するリアルな声を丁寧に収集しました。その中で見えてきたのは、**3つの「スキマ」**でした。

(実際の声)

- ・制度があっても使っている人を見たことがない → 制度と現実のスキマ
- ・家庭と職場以外のつながりがほしい → あなたと社会のスキマ
- ・身体の不調について、どこに相談したら良いかわからない → 制度と制度のスキマ

こうしたスキマを埋めることで、人が制度に合わせるのではなく、制度や支援が人に寄り添い、その結果として、「あなたらしさ」が実現される社会を目指します。

<3つのスキマを埋める具体策>

制度と現実のスキマを埋めて、女性が働きやすい環境をつくる

- ① WomanWill 企業ネットワークの立ち上げ
(『BOSS カフェ』～経営トップと社員の本音トーク～)

あなたと社会のスキマを埋めて、日常の中でつながりの場所を広げていく

- ② Woman's リアル VOICE テラス
- ③ オンラインコミュニティの構築(詳細は後日発表!)

女性の健康に関わる制度のスキマを埋めて、包括的に支える体制を構築する

- ④ 国立成育医療研究センターとの包括連携協定
- ⑤ 女性の健康に関する連携支援体制の構築

【具体的な取組】

OWomanWill 企業ネットワーク

- ・協働企業群でのノウハウ交換・実践・シェアを通じて、「男性中心の働き方・企業文化」の変革を目指します。
- ・若者/女性にとって「働きやすい」「働きがいのある」企業となるためのアクションを設定・実行します。

OWoman's リアル VOICE テラス

- ・女性が気軽に集い、安心して声を上げられる「居場所」を地域に広げます。
- ・リラックスできるサードプレイスが、「つながりの入り口」となります。

○国立成育医療研究センターとの包括連携協定 ※詳細は別紙参照

○女性の健康に関する連携支援体制の構築

- ・女性の健康課題を横断的・包括的に捉え、ライフステージを通じた「一人の女性のカルテ」として地域全体で支援する体制を構築します。

【プロジェクト・アドバイザーとして 村木 厚子さんが就任】



1978年：労働省(現厚生労働省)入省。
障害者政策や女性政策に携わる。
2008年：雇用均等・児童家庭局長。
2013年：厚生労働事務次官を歴任し、2015年退官。
現在、全国社会福祉協議会会長、
大阪大学ダイバーシティ&インクルージョン
センター招聘教授などを兼務。